社会の「これから」をつくる研究所

国総研 NILIM

住宅・社会資本分野の最先端の研究プロジェクトに取り組んでみませんか？

～国土技術政策総合研究所　任期付研究員の公募～

国土技術政策総合研究所では、主に若手研究者を対象として、住宅・社会資本分野の政策や現場ニーズに直結する最先端の研究プロジェクトに従事していただく任期付研究員を採用しています。**現在、2つの研究課題に対して任期付研究員を公募しています**（令和8年度第2期）。

1. 公募研究課題

① **水道施設における地震被害の軽減に関する研究**
② **建設分野のGHG排出量算定の情報連携･データ連携･自動化に関する研究**

2. 任用期間

令和９年４月１日から令和１２年３月３１日まで（３年間）

3. 応募要件

- 博士の学位取得者または採用日までに博士の学位を取得する見込みがある方
- 募集時に提示する分野に関する研究実績がある方
- 日本語によるコミュニケーションができる方

4. 勤務地

国土交通省国土技術政策総合研究所（茨城県つくば市旭１番地）

5. 待遇

- 俸給月額：415,280円～491,840円（地域手当含む。知識経験等を勘案して算定。）
- 期末手当（ボーナス）：年2回（6月、12月）支給
- 勤務時間：8:30～17:15（12:00～13:00休憩、フレックスタイム有）
- 休日、休暇：週休２日制(土日、国民の祝日、年末年始は休み)
- その他：官舎有り、通勤手当、超過勤務手当有り

6. 応募締切

令和8年11月30日（月）

7. 問合せ先

国土交通省国土技術政策総合研究所　技術系採用事務局
Tel：029-864-4343　Fax：029-864-1527
E-mail: nil-saiyou-gijyutu@gxb.mlit.go.jp
Webサイト：https://www.nilim.go.jp/

詳細は下記QRコード先のWebページをご確認ください。

https://www.nilim.go.jp/lab/bbg/ninki/index.html

R8.10.26時点

参考：過去の公募実績

- 住宅・社会資本分野の政策や現場ニーズに直結する最先端の研究課題に取り組む任期付研究員を毎年度公募
- 令和7年度は10件の研究課題を3期に分けて公募。令和8年度は第1期（5～6月）に5件公募

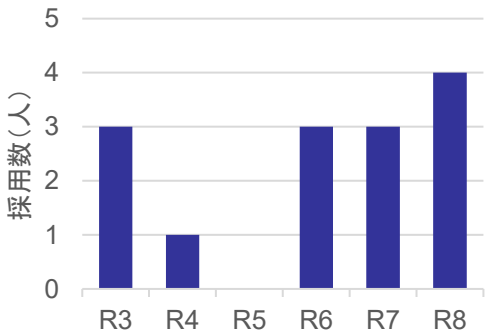
○ 過去4年間の公募研究課題

年度	研究課題	研究室
R8公募 ※第1期（5件）	水道施設における地震被害の軽減に関する研究	水道研究室
	温暖化に伴う土砂災害リスク変化への適応策に関する研究	土砂災害研究室
	道路橋の性能の評価法に関する研究	橋梁研究室
	大地震時における建築物の基礎構造を考慮した耐震安全性能評価に関する研究	構造基準研究室
	既存住宅・建築物ストックの適正な管理・改修・更新、既成住宅地のマネジメント・再生のために必要な方策に関する研究	住宅ストック高度化研究室
R7公募（10件）	活性炭およびイオン交換による水道原水中の有機フッ素化合物（PFAS）の吸着処理に関する研究	浄水処理研究室
	地域特性の変化に適応するフレキシブルな水道・下水道技術に関する研究	能登上下水道復興支援室
	気候変動に適応した海岸保全に関する研究	海岸研究室
	水災害が地域社会・経済に及ぼす波及影響に関する研究	水害研究室
	既設ダムの機能を最大限活用した水災害リスクマネジメントに関する研究	大規模河川構造物研究室
	山地流域における豪雨時の生産土砂量の気候変動に伴う変化及び河床変動解析手法に関する研究	砂防研究室
	ICT・AI技術とビッグデータを活用した幹線道路ネットワークの常時交通量推定・将来渋滞予測手法及びパフォーマンス向上手法に関する研究	道路研究室
	道路交通騒音の予測手法と対策技術に関する研究	道路環境研究室
	道路ネットワークの強靭化に資する道路構造物の設計法に関する研究	構造・基礎研究室
	グリーンインフラとしての緑地における生物多様性の評価及び緑地の保全管理に関する研究	緑化生態研究室
R6公募（4件）	洪水予測技術・ダム操作意思決定支援技術の高度化に関する研究	水循環研究室
	山地流域における豪雨時の生産土砂量の気候変動に伴う変化に関する研究	砂防研究室
	道路構造物の設計入力地震動・地震動等外力特性に基づく災害リスクに関する研究	道路地震防災研究室
	良好な景観形成に資するまちづくり・公共空間の計画に関する研究	緑化生態研究室
R5公募（5件）	水質・負荷量の変動及びエネルギー消費量等を踏まえた下水処理場の放流水質のあり方に関する研究	下水道研究室
	災害被害等の防止・軽減等に資する下水道施設の管理技術のあり方に関する研究	下水道研究室
	地域の社会・経済・生活を踏まえた流域治水推進のための情報共有に関する研究	水害研究室
	気候変動が土砂災害に与える影響に関する研究	土砂災害研究室
	道路ネットワークのパフォーマンスの評価手法および ICT・AI技術を用いた渋滞マネジメント手法に関する研究	道路研究室

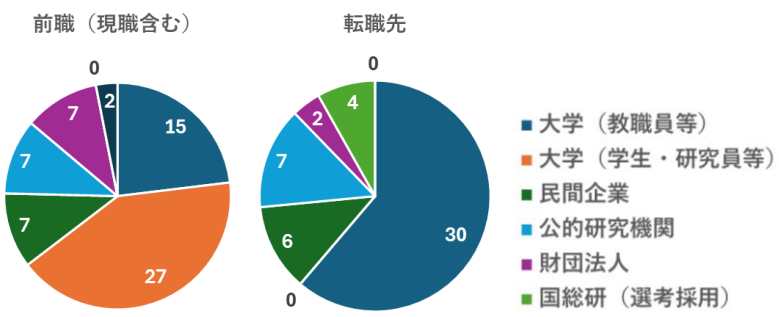
参考：採用実績・キャリア

- これまでに大学や民間企業等の研究機関での研究実績のある方や、博士課程修了直後の大学院生など、幅広い層の方を計65名採用（平成13年度～令和8年度）
- 国総研で研究者としての実績を積むことにより、他の研究機関等にキャリアアップして転職される方や、国総研のパーマネント型の研究職に選考を経て採用される方など、任期満了後のキャリアも多彩

○近年の任期付研究員の採用実績



○ 任期付研究員の前職及び転職先の内訳



※ 在任中や転職先不明の場合があるため、前職と転職先の合計人数は一致しない。

R8.10.26時点